

◆横山地区堤防計画住民説明会

令和5年3月14日に堤防建設に伴う関係者との事業説明会を虹のプラザで開催しました。

【参加者からの■質問 ○答弁】

- 補償費がどんな方法でどのくらいになるのか、教えてほしい。そうしないと移転の準備もできない。
- 令和5年度に入ると用地・家屋調査を実施させていただき、補償費を算定させていただきます。
- これからのスケジュールを教えてください。
- 用地・家屋調査が概ね令和5年度末まで予定されています。その後、個々に用地交渉になりますが、契約が整った方から、住居の移転、解体に進むことになります。



◆第3回大石田・横山地区の治水対策に関する住民公聴会

令和5年3月24日に第3回大石田・横山地区の治水対策に関する住民公聴会を虹のプラザで開催し、大橋架け替えに関するご意見をいただきました。

【参加者からのご意見】

- 代替案の人道橋案ですが、横山地区にとっては非常に大きなリスクを負うことになる。例えば、火事の時や救急車の出動の時など迅速に対応できなくなるし、学校に通う通学路としても利用しています。今回「引き堤」に伴い、横山地区が補償移転になるわけですので、その辺も大石田地区の方には考えていただきたい。そして、しっかりした車道橋を作ってほしい。
- 大石田駅にはたくさんの観光客がいるが、町の中には入ってこない状況です。町の中を土堤で分断して町並みを崩すより、人道橋でデザインを工夫して観光客を呼び込むような橋がいいと思う。
- これから先、人口減少は避けられない。橋の維持費も年数が経てば大きくなってきます。それならば、人道橋で負担を軽くした方がいいのではないかと。また、国交省が言うように緊急車両が通れるならば、なおさら人道橋がよいのではないかと。
- これまで懇話会や公聴会で話し合ってきましたが、第2案か人道橋案の話になっています。私は人道橋案に賛成します。まず、懸念されている町外の流出が少ないこと。橋の維持管理が少ないこと。町並み景観が守られることなどを考えると、人道橋案が最適だと思います。
- 横山地区にとっては、昔から橋を通して生活してきました。車が通れない橋では不便ですので、私は車道橋に賛成です。
- 横山に住んでいるものとして、車道橋は絶対必要です。先ほどからいろんなご意見が出ていますが、それらをクリアして橋を建設してほしい。
- 盛土だから景観が失われるとおっしゃっているかと思いますが、デザインで克服できるのではないかと。
- 第2案でいくと我が家では町を出ていかなければならない。周辺の人もそうです。であるならば移転が少なくなる方法で橋を架けてほしい。

【お問い合わせ先】

大石田町緊急治水対策連絡会議
大石田町建設課 治水・定住対策グループ
Tell 0237-35-2111 (内線 243・244)
Mail chisui@town.oishida.yamagata.jp
〒999-4112 北村山郡大石田町緑町1番地



緊急治水対策プロジェクト

4月25日号 No.②

進捗状況についてお知らせします



令和2年7月豪雨災害時の最上川大橋の様子

最上川の治水対策事業については、昨年度中多くの方々からご意見をいただき、誠にありがとうございます。町では、国土交通省新庄河川事務所と共にメリット・デメリット等を検証しながら、第2案と代替案を提示してまいりました。さらに、町民の皆様のご意見をいただくため「第2回、第3回大橋架け替えに関する懇話会」や「第3回大石田・横山地区の治水対策に関する住民公聴会」を開催してまいりました。また、意見箱にも多くのご意見を頂戴いたしました。前回の「緊急治水対策プロジェクト進捗状況についてのお知らせ」以降の情報を皆様にご報告させていただきます。

◆意見箱に寄せられた主なご意見

- 大橋の架け替えは、車道と歩道、自転車交通可とし、大石田の歴史に残り、語り継がれる立派な大橋を完成していただきたい。
- 現在の大橋を撤去し、虹の大橋へつながる道路を整備・拡張してアクセスを向上させる。人道橋の機能のほかに緊急車両（消防車・救急車等）の通行に限定した代替橋を整備したら良いのではないかと。
- 内水対策を行い、車が通り、冬でも落雪の心配がなく、子供やお年寄りが安心して通れる緩やかで広く安心して往来ができる橋を作ってほしい。
- 移転が必要な家屋が少ない人道橋のほうが良い。完成後の維持管理費を考えると人道橋に賛成。
- 町民の安全・安心と利便性を最優先にする第2案で橋を建設してほしい。

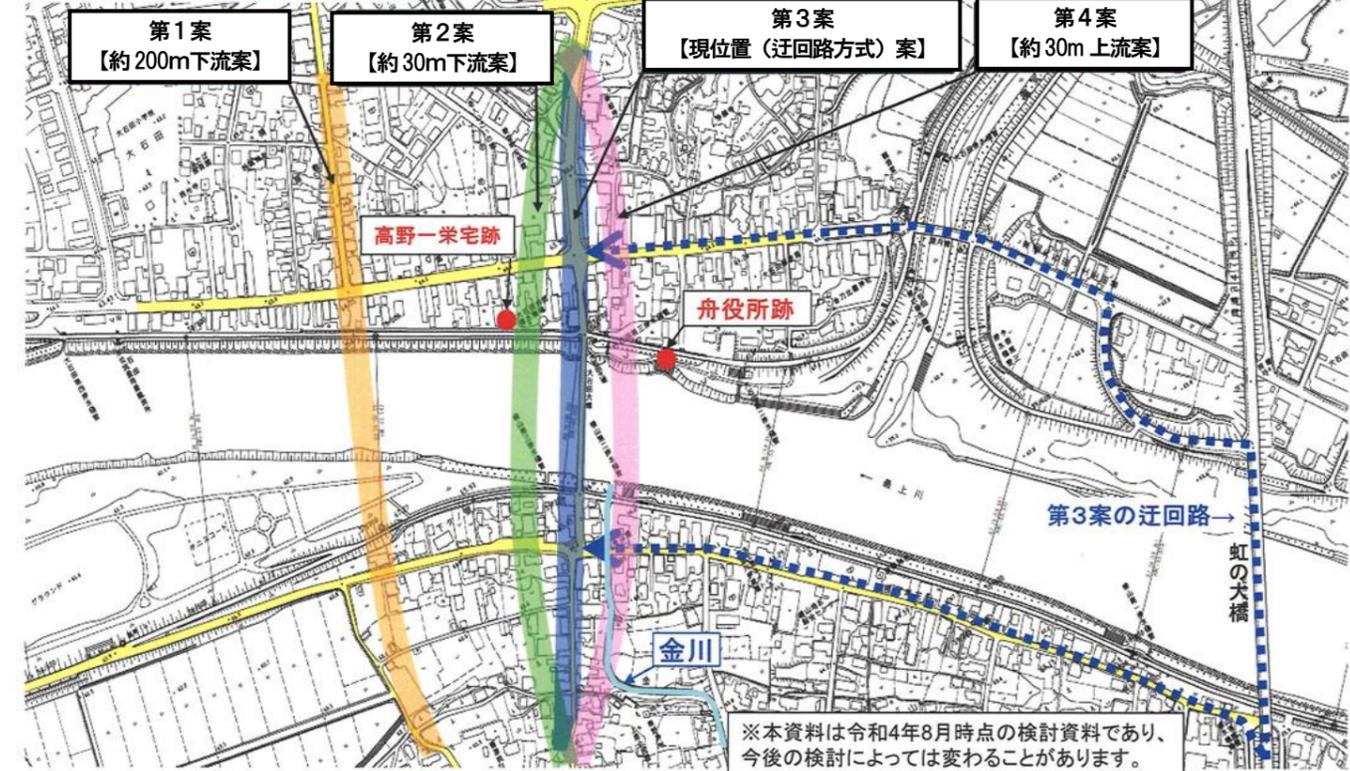
治水対策事業に関する町民の皆さんのご意見をお寄せいただくための「意見箱」を次の場所に設置します。

- 役場1階町民ホール
- 虹のプラザ1階エントランスホール

町公式ホームページにも掲載しています。



大石田大橋の架替(案)



大石田大橋の架替(案) 4案比較

国土交通省
新庄河川事務所

比較項目	第1案	第2案	第3案	第4案
利便性	・現位置より下流となり街中心部へのアクセス性が現状と比較し劣る	・利便性は現状と大きく変わらない	・利便性は現状と大きく変わらない ・現位置架替となるため工事期間中は迂回が必要になるため他案と比較し不便になる ・大石田駅側から県道189号への交通は、新たにアクセス路を設けることとなり主要交通の流れに影響する	・利便性は現状と大きく変わらない
地域への影響	・左右岸取付部で一部家屋移転が生じる可能性がある ・右岸取付部に家屋が密集しており、家屋移転数が他案と比較し多くなることが想定される	・左右岸取付部で一部家屋移転が生じる可能性がある	・左右岸取付部で一部家屋移転が生じる可能性がある ・水道、光ケーブルが現橋梁に添架されており、工事期間中の切り回しが別途必要になる	・左右岸取付部で一部家屋移転が生じる可能性がある ・金川の付替が発生し工事が困難 ・寺院(乗船寺)への影響が想定される
景観等	・下河原公園の上を通過することになるので景観上の変化は生じる ・花火大会打ち上げ場所に近くなるため安全上の課題が生じる可能性がある	・現位置下流に架替のため影響は少ない	・現位置に架替のため現状との比較においては一番影響が少ない	・右岸舟役所跡付近に架替となるため、他案と比較し劣る
費用(建設費、維持費)	・橋長が他案と比較し長くなるため劣る	・第2案から4案まで同程度	・第2案から4案まで同程度	・第2案から4案まで同程度

イメージ図	メリット	デメリット
<p>【(1) 現在の案】(車道橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 車両通行や歩行者や自転車の利用等、現在の利便性を確保できる(現況と変わらない) 車両が通行できるため、出水時等の緊急対応が円滑に行える 	<ul style="list-style-type: none"> 取付道路の整備に伴い、移転が必要な家屋が複数生じる 取付道路の整備に伴い、現在の景観や町並みに影響を与える 取付道路の整備に伴い、周辺家屋のプライバシー等に影響を与える 【(2)代替案】よりコスト(建設費、維持費)が高い
<p>【(2) 代替案】(歩道橋をイメージ)</p> <p>※橋梁と左右岸の堤防等との取付形状については今後検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取付形状によるが、現在の案に比べて、移転が必要な家屋が少なくなる 取付形状によるが、現在の案に比べて、景観や町並みに与える影響を緩和できる 取付形状によるが、周辺家屋のプライバシー等に与える影響を緩和できる 【(1)現在の案】よりコスト(建設費、維持費)が安い 歩行者と車両が分離されるため歩行者の安全性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車は利用できるが、車両は通行できなくなるため、【(1)現在の案】に比べ利便性が劣る 車両の通行ができないため、出水時等緊急時の対応を検討する必要がある <p>※本資料は令和5年2月末時点の検討資料であり、今後の検討によって変わることがあります。</p>

◆第2回・3回大橋架け替えに関する懇話会

令和5年2月28日と3月17日に横山・大石田地区の区長、公民館長と各種団体の代表の方々から大橋架け替えに関するご意見をお聞きするための懇話会を開催しました。



【参加者からのご意見】

- 人道橋にしる、車道橋にしる、まず大橋を撤去してから現在の位置に橋を架けてほしい。2年前の洪水状況を見ると、大橋はいつ流されてもおかしくない状況です。利便性を考える前に人命を優先にするべきであると考えます。
- 人道橋であります、人口流出や維持管理の面からも軽減されるのでよいのではないかと。また、大石田町にふさわしいデザインにして観光スポットにしてはどうか。
- 大橋は横山にとっては、利便性から言ってもかけがえのない橋です。人道橋という話もありますが、橋の上は風が強く危険な場所でもあります。是非、車道橋で架け替えをしてほしい。
- 人道橋という案はとてもいいと思います。しかし、除雪や緊急時には緊急車両が入れるぐらいの幅員はとるべきではないかと。
- やはり横山地区の方の利便性だと思う。現橋を撤去して橋を架けるのもいいけど、完成まで5~6年かかるので横山地区の方が我慢できるか心配です。
- やはり現橋を活用しながら橋を架けないと、だんだん高齢化してくるので益々不便になるのは明らかである。
- 2年前に大洪水があって、20年30年後安全安心して暮らせる橋を国で作ってくれるのであれば、皆様のご意見を聞いて進めていただきたい。
- 本町で言うと現在26戸ありますが、第2案の計画だと7戸減になった他、中心部に橋が架かり分断される。また、ここには本町の中心メンバーがいて、ただでさえ運営が厳しいのに運営できなくなる。憩いの場である店が無くなる。
- 花火大会近くになると良く聞かれるのが、大橋の景観や最上川の景観そして特殊堤の堀、蔵の絵なんです。これから大橋を架け替えるのなら、デザインを考えて大石田町らしいものをつくってほしい。
- 観光ガイドをしてみても思ったのは、芭蕉をつたって来るお客さんが多いので、現在の風景に橋と盛土ができるのが昔のイメージが出てこなくなるのではないかと。